



「おもてなし文化の創造にむけて」

同志社女子大学の山上徹特任教授が、上記演題に関しLCC定例会(9月24日(月)午後6時30分より、(大阪駅前第二ビル キャンパスポート・D会議室にて)に於いて、ご講演をされます。

教授は日本ホスピタリティ・マネジメント学会会長や日本港湾経済学会理事としてもご活躍であり、下記のように多くの著書があります。

- ・食文化とおもてなし 学文社 2012/2
- ・現代観光へのアプローチ 成山堂書店 2010/8
- ・現代観光・にぎわい文化論 白桃書房 2010/3
- ・京都観光学 法律文化社 2007/12
- ・ホスピタリティ・マネジメント 白桃書房 2005/6
- ・ホスピタリティ精神の深化 法律文化社 2008/2
- ・観光の京都論 学文社 200?/?
- ・国際観光論 学文社 2004/11
- ・観光マーケティング論 学文社 2004/11
- ・現代港湾の異文化の賑わい 成山堂書店 200?/?
- ・国際物流のネットワークと港 白桃書房 200?/?
- ・観光大事典(共著) 日本国際観光学会 2006/1-2011/12



同志社ビジネススクール村山教授の著書「京都型ビジネス」の中で、“マクドナルドのグローバル化を成功させた要因が、合理化、マニュアル化、効率化、単純化、機械化などであるのに対して、真の京料理は、これらをすべて否定するところから始まる、いわば、手作業でマニュアル化できない「暗黙知」の中に、京都の食文化が生きている。そこには、個性を持つ人間としての職人が絡んでいる。ここに、京都の文化を海外展開する際の難しさがある。”と述べられていますが、果たして、山上教授は触れられるかどうか、私は楽しみにして拝聴したいと思います。(文責；北出 至)